背負う

イザヤ書 46章 4節
「わたしが担い、背負い、救い出す。」
誠也おんぶ
クララを背負って山を登るペーター

＝おんぶ＝
負う
負ぶう
背負う
イスラエル人を背負われた神
イスラエル人を背負われた神

モーセ、イスラエルの民への決別の説教

「見よ、あなたの神、主はこの土地をあなたに与えられた。あなたの先祖の神、主が仰せになったとおり、上って行って取りなさい。恐れてはならない。おののいてはならない」
（申命記 1:21）
イスラエル人を
背負われた神

「うろたえてはならない。彼らを恐れてはならない。あなたたちに先立って進まれる神、主御自身が、エジプトで、あなたたちの目の前でなさったと同じように、あなたたちのために戦われる。また荒れ野でも、あなたたちがこの所に来るまでたどった旅の間中も、あなたの神、主は父が子を背負うように、あなたを背負ってくださったのを見た。」（申命記 1:29－31）
私たちが背負うもの

日常生活における問題、病い、人間関係、仕事や家庭内での問題、将来への不安、様々なトラブル、孤独...

「彼が担ったのはわたしたちの病
彼が負ったのはわたしたちの痛みで
あったのに　わたしたちは思っていた
神の手にかかり、打たれたから
彼は苦しんでいるのだ、と。」（イザヤ53:4）
私を背負うイエス・キリスト

●すべての人間が背負うもの

罪
死への恐怖

「 彼が刺し貫かれたのは
わたしたちの背きのためであり
彼が打ち砕かれたのは
わたしたちの咎のためであった。」

（イザヤ53:5）
私を背負われるキリスト

「彼の受けた懲らしめによって
わたしたちに平和が与えられ
彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。
わたしたちは羊の群れ
道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。
そのわたしたちの罪をすべて
主は彼に負わせられた。」
（イザヤ 53:5後半—6）
私を背負われるキリスト

「この方は、罪を犯したことがなく、その口には偽りがなかった。ののしられてもののしり返さず、苦しめられても人を脅さず、正しくお裁きになる方にお任せになりました。

そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。」（Iエトロ 2:22-24）
私を背負われるキリスト
「疲れた者、重荷を負う者は、
だれでもわたりのもとに来なさい。
休ませてあげよう。」（マタイ 11:28）
疲れた者、重荷を負う者はだれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。
(マタイ 11:28)
背負われたら…

① 目線は同じになる
背負われたら…

② 前進する
背負われたら…

② 前進する

「キリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。

(フィリピ 3:14)
あしあと「わたしは夢を見た」

ある夜、わたしは夢を見た。
わたしは、主とともに、なぎさを歩いていた。

暗い夜空に、これまでのわたしの人生が映し出された。
どの光景にも、砂の上にふたりのあしあとが残されていた。
ひとつはわたしのあしあと、
もう一つは主のあしあとであった。
これまでの人生の最後の光景が
映し出されたとき、
わたしは、砂の上のあしあとに目を留めた。
そこには一つのあしあとしかなかった。
わたしの人生でいちばんつらく、
悲しい時だった。
このことがいつもわたしの心を乱していた
ので、
わたしはその悩みについて主にお尋ねした。
「主よ。わたしがあなたに従うと
決心したとき、あなたは、すべての道に
おいて、わたしとともに歩み、
わたしと語り合ってくださると
約束されました。
それなのに、わたしの人生のいちばん
つらい時、
ひとりのあしあとしかなかったのです。
いちばんあなたを必要としたときに、
あなたが、なぜ、わたしを
捨てられたのか、
わたしにはわかりません。」
「主は、ささやかれた。
『わたしの大切な子よ。
わたしは、あなたを愛している。
あなたを決して捨てたりはしない。
ましてや、苦しみや試みの時に。
あしあとがひとつだったとき、
わたしはあなたを
背負って歩いていた。」
マーガレット・F・パワーズ
背負われたら...

③ 残るのは、
キリストのあしあと
＝神の栄光

イザヤ書 46章 4節
「わたしが担い、背負い、救い出す。」
主と共に歩む その楽しそよ
主の踏みたまいし 御跡をたどる
〈おりかえし〉
ひと足ひと足 主にすがりて
絶えず絶えず われは進まん
主と共に歩む【新聖歌 355番】

赤子に等しき か弱きわれは
ただ主にすがりて いのちに歩まん
＜おりかえし＞

ひと足ひと足 主にすがりて
絶えず絶えず われは進まん
主と共に歩む 【新聖歌 355番】
花咲く野原も 血に染む谷も
導かるるまま 主と共にに行かん
＜おりかえし＞
ひと足ひと足 主にすがりて
絶えず絶えず われは進まん
主と共に歩む【新聖歌 355番】

エノクの如くに われをも上に
移させたもうまで 日々主と歩まる
〈おりかえし〉

ひと足ひと足 主にすがりて
絶えず絶えず われは進まん
...My precious, precious child,
I love you and I would never leave you.
During your times of trial and suffering,
when you see only one
set of footprints in the sand...

...it was then that I carried you...

from “Footprints in the Sand”